

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 令和5年3月20日（木）10：00～

場所 白石市防災センター2階 大会議室

1. 企業版ふるさと納税寄付贈呈式
2. 白石みらい教育基金への寄付受納式
3. （仮称）白石中央スマートインターチェンジ周辺整備における工業団地の企業募集
4. 災害及び緊急時における水道施設復旧資材の供給並びに復旧工事に関する協定締結式

【記者会見の動画配信について】

記者会見の様子を記者会見終了後に動画配信させていただきます。
記者の皆さまもご理解願います。

白 石 市

中央コンピューターサービス株式会社

企業版ふるさと納税寄附金贈呈式

日 時：令和5年3月20日（月曜日）

10時00分～10時30分

会 場：市役所防災センター2階会議室

次 第

1 開 会

2 出席者紹介

3 寄附金贈呈

中央コンピューターサービス株式会社 常務取締役 所 達也 様

4 感謝状贈呈

5 記念撮影

6 挨拶

白石市長 山 田 裕 一

中央コンピューターサービス株式会社 常務取締役 所 達也 様

7 閉 会

出席者（敬称略）

中央コンピューターサービス株式会社

役 職	氏 名
常務取締役	ところ 達也 所
執行役員兼地域デザイン事業部長	いとう まさかず 伊藤 雅一
CX 推進課長	なかむら あつのり 中村 敦史

白石市

役 職	氏 名
市長	やまだ ゆういち 山田 裕一
副市長	きくち まさあき 菊地 正昭
総務部長	やんべ ひでお 山家 英男
総務部企画政策課長	もうり はるき 毛利 春樹

白石きぼう学園への寄附について

担当：教育委員会学校管理課

この度、本年4月に開校する不登校特例校「白石きぼう学園」に対し、子どもたちが安心して教育を受けることができる環境整備の資金として、企業の皆様からご寄附をいただくことになりました。

本学校は、一人でも多くの子どもたちが自分に合った学びを選択できるようにするため、個々の学習状況に応じた学び直しの時間や興味関心に基づく探究活動などを取り入れ、地域や企業の方との交流等を通じて、意欲と自信が持てるようになることを大切にし、社会的自立に結びつけることを目指した学校です。

今回の寄附は、子どもたちを地域・社会で支えるという意義もあり、本市では、寄附金を「白石みらい教育基金」に積み立て、子どもたちが自ら未来を切り拓き、社会を生き抜く力や高い志を持って可能性に挑戦できる力を育むことができる環境整備に有効活用したいと考えております。

1 寄附者

- (1) 株式会社白石倉庫 様
- (2) 蔵王リース株式会社 様
- (3) 株式会社オフィスコーポレーション 様

2 寄附物件

- (1) 500,000円
- (2) 500,000円
- (3) 50,000円

令和5年3月 記者会見資料

(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺整備における 工業団地の企業募集について

担当：建設部都市創造課

令和2年10月に(仮称)白石中央スマートインターチェンジについて、整備の必要性を認められ国から新規事業箇所に採択されました。スマートインターチェンジの整備効果を最大限に発揮するための周辺施設整備については、令和3年9月に「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺整備基本計画」を策定し、「工業団地」「道の駅」「スポーツレクリエーション施設(防災公園)」の3つの拠点整備を指すこととしております。

工業団地については、地権者との用地契約説明会を経て、停止条件付土地売買契約を締結しましたので、企業募集を開始することにいたしました。また、本工業団地の名称を仙台南部工業団地に決定し、令和5年4月より白石市初のエントリー&オーダーメイド方式による工業団地整備を行うこととし、今般、エントリー企業の募集受付を開始いたします。エントリー方法等につきましては、募集要領を白石市ホームページに掲載します。

「エントリー&オーダーメイド」方式による工業団地整備とは…

立地を検討する企業(エントリー企業)と意見交換を重ねながらオーダーメイドで区画を販売する方法です。

出来合の区画を販売するレディーメイドに比べ、様々な規模の区画のニーズに対応可能であり、エントリー企業のニーズをできる限り取り入れながら、魅力ある工業団地を整備します。

また、整備計画作成時点でエントリー企業を決定することにより、立地を検討する企業は早期に工業団地の整備計画を把握することができ、スピーディーな操業が可能となります。

○配布資料

- ・仙台南部工業団地エントリー企業募集パンフレット

白石市と大成機工株式会社との「災害及び緊急時における 水道施設復旧資材の供給並びに復旧工事に関する協定」 締結式について

日 時：令和5年3月20日（月曜日）10時から
会 場：防災センター2階 会議室

○協定締結の経緯等

上下水道事業所では、安心安全な水を使用者に供給し続けるため、適正な維持管理を行っております。東日本大震災を始め、令和元年台風19号では河川に架かる配水本管が流失し漏水したほか、令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震では水道本管が損傷し、漏水が25箇所が発生し、資機材を確保し復旧までに相当の日数を要するなど、近年、自然災害による被害が増加しております。

本市では漏水などの事故に備え、一般的な補修用資材を貯蔵しておりますが、突発的事故や緊急漏水時は貯蔵資材だけでは不足することを鑑み、漏水補修資材の製造に特化した事業者と連携することで、貯蔵資材が不足した場合に速やかに供給され、水道施設の復旧作業が効率よく迅速に行うことが可能となります。

大成機工株式会社様は、多様な漏水補修資材の製造を行っておりますことから、協定締結後は当事業所が貯蔵している補修用資材がその性能を保持できるよう無償で点検を実施していただくことになっております。また、各種補修用資材の取扱いに関しては、専門的知識と技術を必要とすることから、「技術スキルの向上」や「若手技術者の育成」を目的に職員や管工事組合員を対象とした技術講習会を開催していただくことで、技術継承・持続可能な水道事業への貢献が期待されます。

○協定締結式

締結者 白石市・・・山田裕一白石市長
大成機工株式会社・・・中村稔代表取締役社長

協定項目

- (1) 水道施設復旧資材の供給に関する事
- (2) (1)に係る水道施設の復旧工事への協力に関する事
- (3) 貯蔵品の定期点検に関する事
- (4) 水道施設復旧資材に係る技術講習会に関する事

白石市と大成機工株式会社との
「災害及び緊急時における水道施設復旧資材の供給
並びに復旧工事に関する協定」締結式

日 時：令和5年3月20日（月曜日）
午前10時～
会 場：防災センター2階 会議室

次 第

- 開 会
- 出席者紹介
- 協定締結
- 記念撮影
- 挨拶
- 閉 会

白石市長 山田 裕一

大成機工株式会社

代表取締役社長 中村 稔 様

出席者（敬称略）

白石市

役 職	氏 名
市長	やまだ ゆういち 山田 裕一
副市長	きくち まさあき 菊地 正昭
総務部長	やんべ ひでお 山家 英男
上下水道事業所長	あんどう のぶゆき 安藤 信行

大成機工株式会社

役 職	氏 名
代表取締役社長	なかむら みのる 中村 稔